

神戸 YWCA 夜回り準備会（仮）

ニューズレター2018

活動報告書 vol.13

2018年3月発行



2017年の夜回り

立川 献

1. 2017年の夜回りは、これまでと大きく様変わりしました。というも、これまで夜回り準備会の代表を務めてくれていた鍋谷さんから、私に代表を交代したためです。引き継ぎをするために、急遽会議を開き、2時間近くタスクの整理をしながらこれからの夜回りのことを話しました。

会議をしながら、「これほどたくさんのことを、鍋谷さんはしてくれていたのか」ということに気づかされ、驚きとともに、あまりに多くの負担を彼女にかけてしまっていたことを、反省させられた次第です。

あの（伝説の）会議を実施したのは2017年4月3日ですから、早いものでもう1年が経とうとしています。

この1年、とりあえず「誰か特定の人（特に私）にだけ作業負担が増えてしまうことは避けよう」「誰でも作業ができるように情報を共有しよう」というスローガンを勝手ながら打ち立て、分室における資料管理、パソコン内のデータ整理、スケジュール管理方法、タスク管理、情報共有等、様々な面で、ある意味で「改革」を実施しました（分室の本棚が、本棚の中にあるファイルや資料が、パソコンのデスクトップ上に散開していたファイルやフォルダが、どれほど美しく整頓されているか、是非一度ご覧いただきたい）。

2. 私みたいな者が代表で、夜回りが回っていくだろうか、そもそもコーヒーの補充ってどうするんだろう、お金のことは誰に相談するんだっけ等といった、夜回りをするに際しての初歩中の初歩ともいえるような不安を抱える私をよそに、チームのメンバーが積極的に動いてくれ、また新しいメンバーの方が何名も参加してくれるようになったことで、何とかかんとか、この1年

間、夜回りは崩壊(?)することなく、新たな報告書を発行する日を迎えることができました。

3. 私が引き金となって始まった夜回りでの「小さな働き方改革」は、一定程度の成果を挙げることはできたのではないかと思います、それと引き替えに、実施することができなかったこともあります。

そのうちのひとつが、チームみんなでの勉強会や打ち合わせ等を通した「いま自分が考えていること」の共有です。

勉強会や読書会、映画鑑賞会等、実施する方法も踏まえて、「あんなことをしてみよう」「こんな方法であればみんなが集まりやすいのではないか」、企画に関する意見は、代表を交代した当初から様々に出されていたのですが、それらのうちのひとつでも実現させることができなかった・・・というのが、この1年の活動の中で私の心に楔となって残っています。というと大げさですね。ホントはちょっと後悔している程度です。

4. そんな経緯で、なんとかかんとか、今年も報告書を仕上げました。

今年は、昨年までとは違い、冊子ではない、ニューズレター形式になっています。ご支援いただいている皆様に、何とか夜回りの状況をお伝えすることができれば、と思い、多少（というか相当）ページ数は少なくなってしまうしておりますが、頑張って仕上げしておりますので、是非ともご覧いただければ幸いです。

ここまで活動をともにしてくれた一人一人に感謝して。

これからも、愛のある夜回りをする事ができるように。



2018年の活動を振り返って



野々村 耀

振り返り

今回も2016年8月から2017年7月の間の活動を振り返ります。

➤ 夜回り概要

継続している活動は第二、第四土曜の夜回りだけになりました。病院訪問は、知り合った人が入院した場合だけで、毎週ではなくなりました。生活保護申請に同行したのも一回だけです(訪問先の3人の人が保護を受けることになりました)。

この間に私たちが夜回りしてきた神戸市灘区と東灘区で野宿する人はうんと少なくなりました。16年には同じ場所に野宿している人は、7人でしたが、17年7月には3人になりました。移動している方のことはわかりません。野宿する人が少ないことは、うれしいことです。そのために夜回りをしているのですから。(ボランティアしたい人の中には多い方がやりがいがある～少ないと物足りない～と間違えることがあります)。ただ、屋外の野宿でないが、形を変え(ネットカフェ難民や貧困ビジネス)同質の問題は継続しています。見えにくいのでより深刻です。

活動の状況(2016年7月～2017年8月)(内は前年)

	最多	最少	合計	平均
参加者数	4 (5)	2 (2)	78 (81)	3.3 (3.4)
訪問先	6 (6)	3 (2)	125 (111)	5.2 (4.6)
会った人	4 (5)	2 (2)	78 (78)	3.3 (3.3)

- 皆さんの近況等 ※内3の方が保護申請しました。
- 病院訪問 (Uさん)(土曜日の)夜回りで出会ったとき「少し体調が悪い」といったので、風邪薬を渡して、月曜になってもよくならなかつたら、神戸市の施設・更正援護相談所に嘱託医がくるから、診てもらおうように勧めました。しかし、火曜日にカトリックの炊き出しの際にしんどくなり、結局入院。退院時に生活保護を受けることになりました。入院中に何度かお見舞いしました。
- 追い立て
(Iさん)自分が寝ていると、見た人が通報する。通報を受けた警察は「立ち退け」といわなければならない。それでは警察の人に悪いから、同じところに寝ないようにしているといって、生活用具をくりつけた自転車を押して、移動しながら暮らしていたが、その自転車が壊れ、たやすく動けなくなった。しばらく姿

を見かけなかったが、ある川のそばにいらっしゃるのを見つけました。Iさんはいつも公園の掃除をしていて、桜の季節には花びらを、秋には枯葉を。しかし、夜には都心の三ノ宮に行って寝ていました。それも、同じところだと迷惑がられると思い、場所を転々と変えていたようです。ただ、昼もいる場所に生活用具などを置いていました。ある日置いてある物に、「物件の所有者はX月X日までに撤去して下さい。」という赤い紙を貼られました。夜回りで訪問してもIさんの姿は見えなくなりました。心配して探したところ、別の公園で見かけたのですが、また見えなくなりました。多分、今度の場所は、子供の遊ぶ場所と近いので、誰かが何か言ったのではないかと想像しています。書き留めておきたいのは、Iさんがレジ袋の中で何かをハサミで切っていたことです。

何をしているか尋ねたところ、「草を切っている」との返事でした。生えている草を細かく切って、食べていたのです。心配です。

● 追い立てと生活保護申請

海岸線・護岸の外の埋め立て地。そこは二つの駐車場に挟まれた細長い空間で、昔の護岸壁と夾竹桃の茂みで外部からは見えない場所でした。以前は10人近くの人が小屋を建て住んでいたこともありますが殆どの人が別の場所に移動した後、残ったのはTさんだけでした。あらゴミ集め(ゴミ出し場などで売れる物や、アルミ缶等を集めて業者に買い取ってもらう。条例ができて資源ゴミ持ち去りは禁止された)で生計を立てています。自由な時間には読書、路上コンサートでのジャズ鑑賞。僕らが病院訪問で小説を入院している人に届ける事を知って、読み終えた本を何度もくれたりしました。Tさんは16年12月から、神戸市の港湾を管理する部署に、津波対策の工事をするので立ち退く事を求められました。僕は立ち退き要請が正当なのか神戸市と議論したくもありましたが、Tさん自身が、「もう年だし、(廃品回収で)生計を立てるのも難しくなってきたから、生活保護を受けたい」「春になったら、ここを立ち退く」と考え、市の担当者にそのように伝えました。Tさんは以前から、「自分でやっていける間は、がんばりたい」といっていて、私たちが「しんどくなったら保護を受けられるから、無理しないように。その時は手伝うから」と話してきました。Tさんは今の場所は離れたいが、隣の小屋に住んでいた(今は生活保護を受けている)Mさんが芦屋の病院に入院しているので、見舞いに行きやすい場所にすみたいと考えていました。

敷金なしで貸してくれる大家さんに相談したところ、空部屋があり、そこを借りる契約をして、生活保護の申請をし、受理されました。※なぜそうしたかという点、神戸市では、住まいのない人は生活保護を受けるのが困難だからです(福祉事務所にはホームレスには生活保護を支給しないとの規則がある)。現在は「神戸の冬を支える会」が市の委託を受けて、住まいのない人(DVで家を出た人、刑務所を出たばかりの人など)がビジネスホテルなどに一月ほど泊まって、そこを<住まい>として、保護を受けられ

るようにしていますが、この事業がなくなればどうなること
でしょう。

● 保護申請

Mさん、初めて出会ったとき住民票を取りたいが仕方が分から
ない、とのことで、本籍地に問い合わせたりいくらかお手伝
いしました。神戸市の巡回相談員が紹介したアパートに住ん
で保護を受けることになりました。

● 襲撃

この期間の最後、2017年の7月の夜回りで、灘浜緑地を訪ね
ました。いつもの夜回りのコースではないが、誰かが寝ている
事がある。ここでは時々何人かの人に会った。

6月某日 自転車を横に置いてベンチで横になっている人に
声をかけると、俺はホームレスじゃないがホームレスのこ
とはよく知っている。彼らに金を貸している、とのことだった。

7月某日 ベンチで休んでいる人に声をかけた。野宿してい
るわけじゃない、とのことだが、パンはもらうとのこと。また
会うかもしれない。

此の緑地ではそのほかに何人かの人が気になったが声をかけ
そびれた。

7月某日 ベンチで寝ている人に声をかけた。ここにくる前は
どこにいはった？と聞くと、あっち、と渚公園のほうを振りか
えった。理由を聞くと、エアガンで撃たれたから、とのこと。
最近では襲撃されたという話はあまり聞かないので安心してい

たが、やはり繰り返されている。財布の中にしまっていた、
自分が撃たれたというBB弾を見せてもらった。これを書い
ている12月、猫をエアガンで撃ったという理由で、男が書類
送検されたとテレビのニュースが伝えている。動物愛護法違
反とのこと。猫は愛護の対象だが、野宿している人のことはマ
スコミの話題にならない。殺されたときには報道されるが。

➤ その他

教育委員会訪問 子供による襲撃が繰り返されているので、
人権教育に組み込むように要請したり、夏休みなどの前など
に襲撃が増えたりするので、対策を要請したり、事件があった
時には報告したりしています。年度が替わると担当者が代わ
るので、継続を要請しに訪問します。

勉強会 2016年11月には「神戸でできること」という勉強
会をしました。メンバーはいろいろな事情で入れ替わります。
神戸市の「ホームレス対策」、市の施設などを知ること、実際
にはどのようなことが可能か、どういう点がむづかしいか・
などを勉強し、共有を図りました。

まとめ この間に、社会保障費が切り下げられ、これから生活
保護費の切り下げが予定されています。また2018年春には、
5年以上働いた派遣社員が申し出れば常雇にすることが義務
付けられるので、その前に多数の解雇者がでることが心配さ
れます。野宿の問題は住まいの問題、貧困の問題、差別の問題
など多様な顔をしています。

会計報告

(自：2016年4月1日 至：2017年3月31日)

収入の部

項目	金額 (円)	備考
寄付金	216,000	
助成金	115,000	
合計	331,000	

支出の部

項目	金額 (円)	備考
車両費	100	
物品費	91,128	炊出し食材費(越冬)、下着、蚊 取り線香、カイロ、医薬品、コー ヒー等
印刷製本費	64,808	活動報告書印刷費
通信費	25,722	報告書発送費、振込手数料
支払寄付金	30,000	神戸冬の家・越冬越冬活動に協 賛
管理費	119,242	分室維持管理・人件費
合計	331,000	

寄附・寄贈報告

(自：2017年3月1日 至：2018年2月28日、敬称略)

東昌宏 井上みち子 岩崎滋 大川妙子 小倉寛
片山恵 川辺比呂子 桐田泰江 後藤安子 齋木彰
高橋智子 田平正子 鄭秀珠・下田隆清・由楽 鶴崎祥子
戸田恵子 中島昭子 中島紀子 長澤毅 中田洋子
西山秀樹 二宮百合子 野々村耀 牧野哲 三浦啓子
宮田洋子 宮地京子 三島孝子 森崎武雄 山本容子
吉田英二 米岡忠之

※ 多くの方からカンパ、毛布、衣類、靴などの物資、リンゴ
などを頂きました。感謝して活動に使わせていただきました。
第4土曜の夜回り前に美味しいおにぎりを握ってくれ
ている、山本容子さん、宮地京子さん、富山悦子さん、川
北ユキ子さん、いつもありがとうございます。

※ 万一、お名前の漏れや間違いがありましたら、ご一報いた
だけるとありがたいです。



参加者の感想

あったかい家 鍋谷美子

元代表の近況など書いてと言われ、久々に書き物をします。昨年は、転職したり転居したり、再び転居したり、激しく動いていました。長く住んだ神戸を離れ、夜回りにも全然行けず、越年で久々にいろんな人に再会しました。

自分の住環境や労働環境がガラッと変わり、その変化は、いいものもあれば悪いものもあり、でしたが、ようやく自分のペースができてきた感じです。

さて、引っ越して住んでいる家が、暖かい。たぶんつくりの問題なのだろうけど、生まれてから一番暖かい家。家ってあったかいんだなあと思いました。自分の生活の仕方も変わりました。必要にせまられ早寝早起きをするようになり、食べるものに気をつけるようになったり、酒を飲まなくなったり。そうすると調子がよくなるという当たり前のことを実感しました。とにかく去年一年は、自分のQOL(Quality of Life)が大変に上がった年でした。

でもそういう自分の生活を改善し、体をケアするということは、誰かに教えてもらわないとやり方が分からずできなかつたりします。こうするといいよ、と言われ、実際にやれる環境があつてやってみて、効果を実感して初めてこれが自分にとっていいものなんだ、と思うんだな、と。自分が結構そういうことに無頓着に生きてきたんだなという発見でもありましたが。

何か困った状況があつても、他の状態を経験したことがなければ、それは困っていることとしては実感されず、だから改善しようとも思えない。何が人間にとって"良い"状態なのかは、もちろん人それぞれだと思うけど、もっとこんな選択肢もあるよ、とみんなが知って選べるなら、もう少しマシな世界になるのではないかなと思ったりしました。

2018年も個人的にはいろいろと変化がありますが、生活の中で自分が感じる実感を大事にしながら、ほそぼそと世界にもつな

がっていききたいなと思っています。

感想 細田梨恵

私は、昨年の秋頃から夜回りに参加させていただいています。初めて夜回りに参加した時に強く感じたことは、訪問先の方との距離の近さとタイムリーで細やかな気遣いの含まれた訪問であるということでした。私が初めて参加した日は暴風雨の数日後で、毛布が濡れているかもしれないと毛布を多めに車に積んで訪問したことを覚えています。

細かい頻度で活動するからこそ、その時必要かもしれないものに気付け、継続しているからこそ距離の近さが生まれているように感じました。そして、そのような活動が、多くの人によって引き継いで続いていることに、素直に温かい気持ちになります。私自身、今後も継続して活動のお手伝いをさせていただきたいです。

一言から始まるつながり 森脇梓

私は元来人見知りなところがあり、自分から話しかけることが得意ではない。夜回りにおいても、野宿されている方に話しかけることが苦手で、ほかのメンバーに頼っているところがあった。しかし、いつまでもこのままではいけないと思い、昨年の秋ごろから積極的に話しかけることを心掛けるようになった。その方が好きなスポーツや動物の話であったり、体の調子を確認したりと、ささいな内容ではあるが、少し話すだけでも楽しく、時には重要な情報を得ることもあった。

必要なのはほんの少しの勇気だけで、何も難しいことではなかった。たった一言、言葉を交わすだけで関係が生まれる。強固なつながりでなくても、たとえ、相手は私のことを忘れても、私が覚えていれば、そのつながりは消えない。きっと、これまで活動されてきた夜回りのメンバーも、このような小さなつながりを積み重ねていって、野宿されている方との関係を築いてこられたのだろうと改めて実感した。



神戸YWCA夜回り準備会(仮) ニュースレター2018 活動報告書 vol.13

発行：神戸YWCA夜回り準備会(仮)

発行日：2018年3月31日

編集：梅澤昌子 金本美子 立川献 中村祥規
野々村耀 細田梨恵 森脇梓

神戸YWCA 夜回り準備会

e-mail: yomawari@kobe.ywca.or.jp



公益財団法人 **神戸YWCA**

本館 〒651-0093 神戸市中央区二宮町 1-12-10

tel. 078-231-6201 fax. 078-231-6692

e-mail: office@kobe.ywca.or.jp www.kobe.ywca.or.jp

分室 〒651-0063 神戸市中央区坂口通 5-2-16

tel. & fax. 078-221-5111 e-mail: bunshitsu@kobe.ywca.or.jp

※今号の報告書は、「2017年度NHK歳末たすけあい」の助成を受けて作成致しました。

参加者募集：月2回(毎月第2・第4土曜日 18時～)活動しています。特にドライバーを担当いただける方、歓迎です。

カンパ募集：通信欄に「夜回り準備会の活動のために」と記入の上、下記の神戸YWCAの口座までお振り込みください。

郵便振替口座 01100-0-10298 公益財団法人神戸YWCA
三井住友銀行 三宮支店 普通 1015232 公益財団法人神戸YWCA

YWCA

(ワイ・ダブリュー・シー・エー

Young Women's Christian Association) は…

キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社会参画を進め、人権や健康や環境が守られる平和な世界を実現する国際NGOです。